

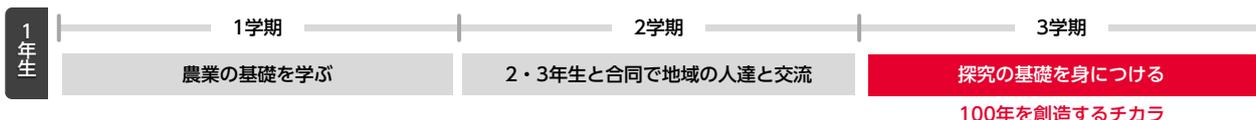
## 地域連携探究に向けて、1年生で基礎編、2年生で実践編を活用

2020年度新たに、地域の課題解決型の探究を中心とした3年間のカリキュラムを構想。  
1年生では、探究の基礎を身につけるために、本教材の基礎編を活用した。

対象：1年生 20名  
資源動物科

### ■ 年間カリキュラム

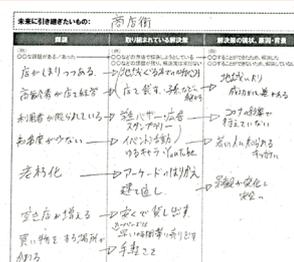
- 総合実習 課外 (75時間)
- 活用テーマ：導入、まち、伝統継承、まとめ
- 学校テーマ：地域課題解決への参画 ※3年間を通して、リアルな地域課題の解決を通じて探究する力を育成する。



2年生は、地域と連携した課題解決型の探究を予定しており、探究の基礎を身につけるために1年生の年度末に実施した。

#### 活用のアドバイス

テーマ「伝統継承」で、東京駅を題材に「課題と解決策を表にする」練習ができたことが  
すごく有効でした。この手法を活用した「自分が未来に引き継ぎたいもの」を表にする  
ワークでは、「有機栽培・無農薬栽培・合鴨農法・商店街」など、思い通りの課題を設定  
して考えていました。これは、2年次の地域探究テーマにつながります。自身の興味・  
関心から探究課題が設定できるのはとても重要です。  
来年度、どのような成果となって現れるのか、非常に楽しみです。



### ■ 探究エピソード紹介

#### 自分の興味・関心を大切に、 地域の課題解決を「自分なりに」考える

地域にはさまざまな課題があり、その解決に向けて取り組む、まさに探究をしている人  
達がたくさんいます。本校では、その人達と連携して地域活性化に取り組む「みっかつ  
(美原地域活性化) プロジェクト」を構想し、2021年度の探究として取り組む予定です。  
連携先としては、生産者(古代米の若手農家)、販売店(地産地消の飲食店)、デザイナー  
(絵画教室)の3つ。生徒はこの中から選んで協働していくので、この教材で、自分は  
「どんなことに興味があるのか」「地域のどんな課題を解決したいのか」を考えられる  
ことは、とても価値ある学びになると考えています。



### 総合環境専攻主任 中村先生から『探究』へのアドバイス！

#### 地域で主体的な探究にするためには、 興味・関心とつながるテーマが重要

「やらされ感」をもった校外活動では、探究の質は高まりません。  
主体的な探究には、興味・関心をもてる活動にすることが重要です。  
最初から「地域の中で、興味があるテーマは？」と問うても自分事  
になりづらいものです。反対に「自分の好きなことからつながる  
テーマは？」と問うと、生徒は、自分の興味・関心と学習をつなぎ、  
主体的な探究が始まっていきます。

Q 生徒の興味・関心を広げるためにはどうすれば  
いいですか？

A 探究は、正解が一つではない問題を考えることが特  
徴です。だからこそ、**自分なりの正解を見つけさせる  
機会**にもなります。例えば、自分の考えをワーク  
シートにまとめた後、グループで交流させ、気づいた  
ことをメモさせます。複数の視点からの考えを知っ  
たうえで、自分なりの考えを再考する習慣をつける  
ことで、ものごとへの興味・関心が広がっていきます。

